

はこじ郎の ぶらぶら ジオ日記

暑い日がまだまだ続くけど、みんなは楽しい夏休みを過ごせたかな？ オイラは色々なところに行って、楽しい思い出を作ってきたよ。

これまで箱根ジオパークの箱根エリアと真鶴エリアを紹介してきた、湯河原エリアのジオサイトを紹介している途中だけど、箱根町・小田原市・真鶴町・湯河原町の1市3町から構成されている箱根ジオパークは今、隣接する南足柄市を編入するための準備を進めているんだよ。

南足柄市は、箱根火山の外輪山の裾野に当たり、地質的にも箱根火山の地層が占めているところが多いんだって。なんだか意外だね！でも、よくよく考えると金時山や明神ヶ岳も山頂付近で箱根町と南足柄市の境界にもなっているし、箱根火山の大きさを実感できるね。

あと、南足柄市には、足柄層群というプレートの衝突を物語る地層も見ることができ、足柄山地や矢倉岳の形成などダイナミックな大地の動きを感じ取ることができる場所なんだって。そして、万葉集にも歌われ、東海道よりも前から東西を結ぶ流通路であった足柄道や金太郎の伝説など自然的・歴史的なストーリーが加わり、箱根ジオパークのテーマ『北と南をつなぐ自然のみち 東と西をつなぐ歴史のみち』をより深く、広く捉えることができるんだよ。

南足柄市を編入するには、4年前に箱根ジオパークが認定された時と同じように日本ジオパーク委員会の審査を受ける必要があるんだ。申請書の提出やプレゼン審査を経て、8月22日～24日に3名の審査員が現地審査に来たんだ。現地審査は、南足柄エリアの現地調査の他、既存の箱根ジオパークエリア（1市3町）のジオパーク活動の状況もヒアリングされたりしたんだ。オイラもその様子をちょっとのぞいたけど、ガイドさんたちを中心に南足柄エリアを含めた新たな箱根ジオパークの魅力が伝わって、平成24年9月の日本ジオパーク認定以降の活動実績についてしっかり審査員にアピールしてたよ。

南足柄市が無事に編入できて、新たな箱根ジオパークが誕生できるといいなあ～！
審査の結果は、9月9日(金)に発表される予定だよ。良い結果になりますよーに☆

箱根・小田原・真鶴・湯河原をエリアとする箱根ジオパークに南足柄を編入する準備を進めていることをご存知ですか？

今回は、南足柄市の編入についてご紹介します。

照会先 企画課 ☎85-9560



夕日の滝での解説

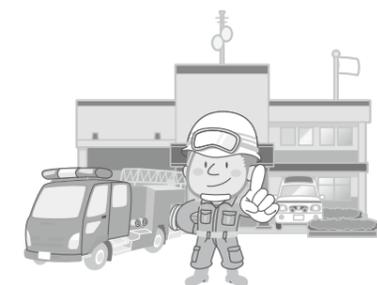
消防の仕事 No.6

第6回は、消防総務課予防係の仕事をご紹介します。

消防には、火事を消し、災害現場から人を助け出す消防隊や救助隊、けがをした人や病気の人を病院に搬送する救急隊があります。その他に火災予防を担っている予防係があります。

予防係の主な仕事は、次のとおりです。

- ・**予防査察**
火災を防ぐために旅館やホテルなどに立ち入り、消防用設備（消火器など）の維持管理状況などを検査します。
- ・**新築などの建物の審査**
火災を起こさないようにするため、建物が建つ前に図面を確認し、消防用設備などが法令に適合しているかを審査します。
- ・**危険物施設の審査（許可）**
計画段階において、図面などを確認し法令に適合しているかを審査します。また、多量のガソリン、灯油、重油などを貯蔵したり、取り扱っている施設を検査します。
- ・**消火・避難訓練の指導**
消火器の使い方や避難の方法、119番通報の仕方などを指導します。



参考

- ・防火啓発
火災予防運動などの機会を捉え、防火についての講話やビデオなどを用いて、防火の意識を広げる活動をしています。
- ・防火教育
小学校児童を対象に、消防の基礎知識の習得、防火思想の普及を図ることを目的に消防学校で体験教育を実施しています。
- ・その他
ガスコンロやストーブなどの安全な使用方法や住宅用火災警報器の設置を指導しています。

約1,500施設
危険物の許可施設数約450施設
予防係に関する各種届出数約1,400件（平成27年度中）

国選択・県指定無形民俗文化財「箱根の湯立獅子舞」が上演されます

カナガワ リ・古典2016 in小田原

神奈川ゆかりの伝統文化を、新たな発想で現代に生きる文化芸術として発信します。箱根からは宮城野獅子舞保存会のみなさんが出演します。

日時 9月19日(月・祝)
I部 13時(開場12時30分)
II部 18時30分(開場18時)

場所 小田原城址公園
出演団体 箱根の湯立獅子舞(神奈川県)
チャッキラコ(神奈川県)
田宮ばやし(茨城県)
内船歌舞伎(山梨県) 他

観覧料 I部は無料、II部は3,500円(前売券3,000円)限定1,000席(全席自由)

主催 かながわの伝統文化の継承と創造プロジェクト実行委員会(事務局 神奈川県県民局 くらし県民部文化課)

チケット販売その他問い合わせ先 FMおだわら

公式サイト
http://www.re-coten2016.com

第58回関東ブロック民俗芸能大会

関東各地に伝わる代表的な民俗芸能が一堂に会します。箱根からは仙石原神楽保存会のみなさんが出演します。

日時 10月23日(日)開演12時30分(開場12時)
場所 神奈川県立青少年センターホール(横浜市西区紅葉ヶ丘)

定員 450名(応募者多数の場合は抽選。当日受け付けも若干名用意)
申込・照会先 神奈川県文化遺産課(〒231-8588横浜市中区日本大通33)
☎045-210-8351

箱根町『園・小・中学校一貫教育(分離型)』 知育編

『知育』は、学習意欲を高め、自分の将来の夢を叶える土台づくりです。

3小1中が共通して取り組んでいるのは、「箱根ミニマム・チャレンジ」と「読書の推進」です。

①箱根ミニマム・チャレンジ

「箱根ミニマム」は、各学年で最低限身に付けたい漢字の読み書き・音読・計算の定着、「チャレンジ」は、その学年で覚えておかなければいけない知識です。例えば、小学校1年でカタカナ・ひらがな、2年でかけ算、3年でローマ字、中学校1年で曜日・月・数字の英語表記となっています。

「箱根ミニマム」は、学期に1回の定着度調査を行い、「チャレンジ」は学年末に定着度調査を行っています。この「箱根ミニマム・チャレンジ」を実施してから、確実に学力の基礎部分が向上してきました。また、各学校はこの共通の取り組みの他に、「音読」「暗唱」など、子どもの実態に合わせた取り組みを行っています。

②読書の推進

学校統合が行われた時から、読書の推進を図ってきました。幼・保・幼児学園では、「読み聞かせ」を行い、各学校ではきつつき号の来校に合わせた図書貸出し月間を設けるほか、給食を待っている時に読み聞かせや読書時間の確保、更には空いたスペースを利用した図書コーナーの設置など読書の推進に力を入れています。

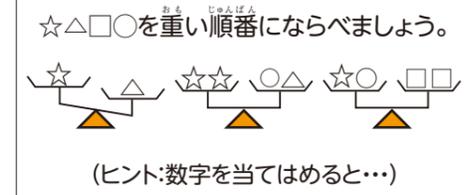
また、町では読書の推進を図るために「箱根子ども図書銀行」を設け、読書量に応じたポイントにより新刊本を渡す制度を創設しており、推進を図っています。以前と比べて読書量は確実に上がってきました。更に、園・学校ではこの他に、図書ボランティアを募り、読み聞かせや図書室の整備を行うなど読書環境にも力を入れています。

“子どもたちの様子”

- ①計算プリントを楽しんで持ち帰り、取り組んでいます。
- ②学校の図書室に行く子どもが増えていきます。
- ③授業の振り返りに重点を置くことで、授業内容の理解度が上がっています。



小学校の空いた下駄箱を活用した玄関文庫



配付計算プリントの答: ☆△□○